

一般社団法人和食文化国民会議 普及・啓発部会 第 4 回部会議事録

日 時：平成 30 年 2 月 26 日(月) 14:00~17:00

場 所：皇居外苑 楠公レストハウス

出席者：105 名

1. 開会

- ・14:00 進行の上野幹事より開会が宣せられた。

2. 部会長挨拶

- ・普及啓発部会 後藤部会長より挨拶がなされた。

3. ①講演会

- ・株式会社伊藤園中央研究所 衣笠仁副所長より「和食のうま味を引き立てる日本茶」の講演を開催した。和食とお茶のかかわり、和食とお茶の相性について、更にお茶によるカツオだしの呈味増強効果の体験を行い参加者全員で検証をする参加型の講演となった。

②トークセッション

- ・伏木会長（研究者）、後藤部会長（料理研究家）、衣笠仁氏（研究者）、上野幹事（進行）より「うま味の秘密」のトークセッションを開催した。研究者、料理研究家のそれぞれの立場から和食のうま味についてご意見を頂き、参加者も楽しめるセッションとなった。

4. 来賓紹介及び挨拶

- ・上野幹事より、来賓として農林水産省食料産業局食文化・市場開拓化和食室長五十嵐麻衣子氏の紹介があり、五十嵐室長より来賓のご挨拶がなされた。

5. 五節供プロジェクト

- ・伏木会長、植松常務理事より「五節供プロジェクト」について説明がなされた。五節供プロジェクトの目的は、「生活習慣の中での和食文化の保護」であり年中行事やしきたり等、生活習慣の再認識、実践及び定着を国民に促し、これらを保護していくことで和食の喫食機会を最大限化し、「和食」の活性化に繋げていく。「五節供」を取り上げ 11 月 24 日の「和食の日」の取り組みに加え、1 月、3 月、5 月、7 月、9 月と年間を通じて推進していくことを伝えた。

6. 普及・啓発部会活動報告

- ・鈴木常務理事より「普及・啓発部会の活動」について報告がなされた。一点目は、「だしで味わう和食の日」の今年度参加校は 6,541 校となり昨年の倍以上の参加となった。また、157 万人の子供たちに和食テキストを配布し、和食にふれる機会を推進した。出前授業については、17 回開催。来年度の目標は、10,000 校、240 万人の子供たちに和食テキストを配布する。二点目は、「広く国民に対する和食の発信」であり、国や民間主催の行事への参加等、他の組織と連動した活動を実施した。引き続き会員の皆様にご協力を頂きながら、それぞれの得意分野を活かし、広く国民に向けた和食文化の発信を進めていくことを伝えた。

7. 新幹事紹介

- ・普及・啓発部会の新幹事の紹介があり、森田新幹事より挨拶がなされた。

8. 閉会

- ・17:00に上野幹事より閉会を宣し、平成29年度普及・啓発部会第4回部会が終了した。

以上